



「前期終業式」

早いもので、今日は「前期終業式」、2022年度の折り返し地点を迎えました。生徒及び教師による自己評価では、「生徒同士、生徒と教師の信頼関係が築かれているか」、「大内中学校は、互いに尊重し、支え合う雰囲気ができているか」、の設問に対する肯定的回答が90%を超えています。「友達同士のあいさつが増えた」、「話し合いが充実している」「周りで声をかけ合い、相手が嫌だと思ふ行動や言葉を見たり聞いたりすることがなくなった」など、お互いの関係性の高まりを実感する生徒が多かったです。お互いの関係性の高まりは、日々の協働的な学習や生徒会活動（大中ミーティング、GA、生活アンケートを振り返る集会など）、係活動、学校行事、部活動を通して培われたものです。実際、お互いがよさやもち味、個性を認め、励まし合い、協力し合って様々な課題を乗り越え、一つのことをやり遂げる場面がたくさん見られました。集団に貢献する姿も日常的に見られ、みんなのために進んで頑張れる生徒が多いのも特徴です。よい学級、よい学校にしていきたい、そのために、自分ができることを頑張ろう、集団に貢献しよう、という意識の高さが、今の大内中の雰囲気を創っています。自分のやるべきことにベストを尽くすことが、よりよい集団づくりにもつながっているのです。

後期は、なりたい自分に迫る時期です。「お互いを尊重し、関係性を高めながら自分のベストを尽くし、自己実現を図る（なりたい自分に迫る）」ことを意識していきましょう。

生徒及び教師による「目指す学校像・目指す生徒像の評価結果」

生徒及び教師による「目指す学校像・生徒像の評価結果」をお知らせします。評価結果から、これまでの個人として、集団としての成長ぶりや学校の状態が分かります。文章量が多いですが、これからの行動のヒントがたくさん示されています。これまでの成長と課題を共有し、これからの行動に生かしていきましょう。

1 令和4年度「目指す学校像」などについて、評価してください。

(1) 目指す学校像について

目指す学校像 --- 生徒も教師も生き生きと力を発揮できる学校

- ① 明るいあいさつが響き合い、一人一人が尊重され、個性を伸ばせる学校
- ② 目指す生徒像を具現化し、生徒の自立を促す学校
- ③ 地域に開かれ、保護者、地域との協働で生徒の成長を支える学校
- ④ 地域と交流し、地域に学び貢献する学校

できている - だいたいできている - やや不十分 - 不十分  
 生徒45%教師29% 生徒51%教師59% 生徒3%教師12% 生徒1教師0

(2) 大内中学校は、互いに尊重し、支え合う雰囲気ができていますか

できている - だいたいできている - やや不十分 - 不十分  
 生徒53%教師40% 生徒42%教師53% 生徒4%教師7% 生徒1教師0

(3) 大内中学校は、生徒と教師、生徒同士の信頼関係が築かれていますか

できている - だいたいできている - やや不十分 - 不十分  
 生徒54%教師33% 生徒40%教師67% 生徒6%教師0 生徒1教師0

◇地域との交流及び地域との協働的な学び（前期）◇

校外学習 自衛隊による防災講話 由利本荘市防災訓練 市消防団女性部による防災講話  
 認知症サポーター養成講座 アルミ缶回収 職場訪問 保護者による職業講話 市企業PR事業 修学旅行